

31年1月分 問屋、仲買・小売商の先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成31年 1月1日～ 31年1月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
1月分の回答企業数は36社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		31/1月	2月	3月
仕入動向	国産材	△ 7.1	△ 5.4	9.3
	外材	△ 9.4	△ 9.4	3.2
販売動向	国産材	△ 1.7	△ 11.7	6.9
	外材	△ 12.5	△ 14.1	5.0
在庫動向	国産材	△ 7.4	3.7	0.0
	外材	△ 5.0	△ 6.7	△ 1.8

・国産材、外材の仕入・販売動向は1月、2月の減少から3月は増加に。

・国産材の在庫動向は1月の減少から2月は増加、3月は横ばいに。外材は3カ月連続減少。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目	31/1月	2月	3月
スギ正角(グリーン)	2.8	0.0	0.0
スギ正角(KD)	4.8	0.0	2.6
ヒノキ正角	0.0	0.0	2.4
ヒノキ土台角	4.5	0.0	△ 2.5
米ツガ正角(現地挽)	5.0	0.0	0.0
米ツガ防腐土台角	5.0	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	5.6	0.0	0.0
米マツ平角	4.3	△ 2.2	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	13.0	5.6	2.0
ホワイトウッド集成管柱	6.5	0.0	0.0
レッドウッド集成平角	△ 2.4	0.0	0.0
型枠合板(輸入)	17.4	6.5	7.1
針葉樹構造用合板	13.6	0.0	△ 2.5
針葉樹構造用合板(厚物)	11.9	0.0	△ 2.6

・スギ正角はグリーン、KDとも保合。
・ヒノキは正角、土台角とも保合。
・米ツガ正角(現地挽)、防腐土台角、割物(現地挽)とも保合。
・米マツ平角保合。
・北洋アカマツタルキ(現地挽)強含み。
・ホワイトウッド集成管柱保合。
・レッドウッド集成平角保合。
・型枠合板(輸入)強保合。
・針葉樹構造用合板は厚物を含め保合。